

イプシロンで打ち上げられた惑星分光観測衛星「スプリントA」について、宇宙航空研究開発機構（JAXA）は14日、愛称を「**ひさき**」と命名した。高度約千キロの地球周回軌道から太陽系の惑星を観測する世界初の宇宙望遠鏡だ。

ひさきは発射場の北東約5キロにある岬の地名「火崎（ひさき）」が由来。地元の内之浦付近で最初に朝日が当たる場所で、「新しい夜明けの象徴」として選ばれた。観測対象の惑星が「太陽（ひ）の先（さき）」にあることにもちなんだ。

火崎灯台に行くには途中、崖崩れの場所や、道が狭く車同士の離合ができない場所があります。お車で行かれる際は、十分に注意してください。

